

会 議 録

行田市教育委員会 平成25年第6回5月定例会

招集年月日	平成25年5月23日(木)	開会場所	行田市教育委員会 2A会議室		
開閉の時刻 及び宣言者	開会5月23日(木) 午後2時00分 閉会5月23日(木) 午後3時27分	委員長	岸田 昌久		
委員長	岸田 昌久	委員長職務代理者	町田 祥子	仮議長	
席次番号	出席の委員氏名	摘 要			
1	岸田 昌久				
2	町田 祥子				
3	鹿山 高彦				
4	阿部 祐見子				
5	中村 猛	(教育長)			
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長	小河原 勝美	書記長	藤間 英夫		
生涯学習部長	猪野塚 敏和	書記次長	梅澤 清志		
学校教育部次長兼教育総務課長	藤間 英夫	書記	瀬場 朋子		
学校教育部次長 兼学校給食センター所長	小管 秀行				
生涯学習部次長 兼郷土博物館長	門井 輝秋				
生涯学習部次長 兼教育文化センター所長兼中央公民館長	宮崎 勝行				
生涯学習部次長 兼スポーツ振興課長	河野 利和				
生涯学習部次長 兼ひとつくり支援課長	鶴木 幹之				
学校教育課長	篠田 豊和				
文化財保護課長	中島 洋一				
図書館長 兼視聴覚ライブラリー館長	小巻 健二				
教育研修センター副所長	石川 光里				

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況		<p>市民憲章唱和</p> <p>委員長 本日の会議日程は議案 8 件、報告事項 1 件だが、議案第 2 6 号については市議会上程議案のため非公開としたいと思うが、良いか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>委員長 4 月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長 4 月定例会会議録報告</p> <p>委員長 何か意見等あるか。</p> <p>【全委員承認】</p>	
	<p>議案第 2 7 号 行田市立小・中学校学校評議員の委嘱について</p>	<p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長 議案第 2 7 号について説明する。本案は行田市立小・中学校学校評議員の任期満了に伴い、それぞれ学校長から推薦のあった方を新たに学校評議員として委嘱しようとするものである。議案の 2 枚目をご覧いただきたい。委嘱予定者の一覧表である。今回の委嘱予定者は小学校が 8 6 名、中学校が 4 1 名の合計 1 2 7 名である。新任 4 0 名、再任 8 7 名となっている。今回は評議員委嘱一覧表の経歴、役職欄に具体的な役職名を表記させていただいた。任期は平成 2 5 年 6 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日までとなっている。5 枚目をご覧いただきたい。学校評議員の設置状況の一覧である。小・中学校の委嘱人数の推移であるが、過去 5 年間の推移を見ると平成 2 1 年度が若干少ない 1 2 4 名となっているが、その年度以外は 1 2 7 名から 1 2 8 名で推移している。次に年齢構成であるが平成 2 5 年度については 6 0 歳代が最も多く 4 8 名であり、全体の 3 7.8 % である。</p>	

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>次に70歳代の31名で、24.4%であり、次いで50歳代、40歳代の順となっている。次に男女別の比率だが、男性が97名で76%である。女性が30名で、24%となっている。次に1校当たりの評議員の人数だが、運営要綱では5名から8名となっているが、25年度では小学校で平均5.4名、中学校では5.1名となっている。学校毎の人数では、小学校は東小学校の7名が最大である。次に北河原小学校、須加小学校、桜ヶ丘小学校、南河原小学校の6名と続いている。その他の小学校は5名である。また、中学校では見沼中学校の6名が最大でその他の中学校は5名ずつとなっている。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。</p> <p>町田委員 評議員一覧の2枚目の94番の〇〇氏だが、年齢が違うと思う。確認をお願いします。</p> <p>教育総務課長 至急確認する。</p> <p>委員長 127名と非常に多くの方が学校評議員になってくださり、大変ありがたいことなので誤字などには気を付けていただきたい。年齢は委嘱状には書かれないのか。</p> <p>書記次長 行田中学校から提出された資料を見ると昭和24年11月生まれということである。年齢早見表を確認すると63歳になる。</p> <p>阿部委員 40歳代だったかと思う。</p> <p>町田委員 もしくは50歳代であったと思う。</p> <p>委員長 学校からの資料が間違えているのではないか。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>阿部委員 私達よりも若いはずである。</p> <p>町田委員 そのはずである。</p> <p>学校教育部長 昭和34年ならあてはまるのではないか。</p> <p>教育総務課長 学校に至急確認を行う。</p> <p>委員長 学校評議員制度が始まった時は学校というものは閉鎖された場所ではなく、地域の方へ活動報告や地域の方に意見を聞き、御指導を受けるなど、より良い学校にしていこうとしていた。現在は地域運営学校というものがあるが、それと通じるものがある一つの働きかけかと思う。今後は存在意義がより重くなるものかと思う。 一覧表の右側に再選年数を表記しているが、1と表記されているものが新任の方なのか。</p> <p>教育総務課長 そのとおりである。要綱上は3回まで再任を認めているので、最長で3年である。</p> <p>委員長 自ら志望してくださる方はあまりいないため、依頼することが多い。仕事を持っている中、時間を割いてくださっている。非常にありがたいことである。</p> <p>町田委員 新任の方が40名ということだが、各学校で特色があるため、様々な意見をいただくことがあると思う。評議員というものがどのようなものか学校で説明会などは行われているのか。</p> <p>教育総務課長 学校長から推薦をしていただく形になっている。現状は学校</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>長から説明を行った上で就任をさせていただいている。</p> <p>町田委員 全体で説明会を行っているということではないのか。</p> <p>教育総務課長 全体では説明していない。</p> <p>委員長 発足からどのくらい経つのか。随分と時間が経っていると思う。また、発足当時は評議員全員が集まっていた。</p> <p>町田委員 その当時は全体で説明会を行っていたのか。</p> <p>委員長 そのとおりである。要綱や趣旨などの説明を行っていた。</p> <p>町田委員 説明会は節目でも良い。新任の方が大勢いらっしゃるため、再任の方が指導していただければ良いが、やはり最初の時には、全体で趣旨や役割を分かっていたことは重要なことだと思う。</p> <p>委員長 新任の方にも、どのような意味合いがあるのかということを中心に伝えていただきたいと思う。よろしく願います。また、この会議をもたれて貴重な時間を割いていただいているのだから、いただいたご意見は記録を残していただいて、次回にはご意見をこのように生かしたという効果を伝えて、やりがいを感じるようにしていただきたい。</p> <p>町田委員 会議のときに校長からお願いしたいことが言いにくい部分があると思う。雰囲気がとても良く、忌憚のない貴重なご意見、辛口のご意見が出していける雰囲気づくりを行っていただきたいと思う。</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第28号 行田市障害児就学支援委員会委員の委嘱について</p>	<p>委員長 町田委員の意見のとおり、自由に意見交換ができる場でないと意味がない。お叱りを受けることもあるかと思うが、よろしく願います。 もう一度年齢等の確認をして、失礼のないように願います。他に意見等はあるか。</p> <p>教育総務課長 学校に再確認をさせていただいた。昭和36年生まれの52歳であった。学校からの資料に誤りがあった。訂正させていただく。</p> <p>書記次長 学校評議員の112番の〇〇氏の住所が渡柳となっているが、埼玉の誤りである。訂正をお願いする。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校教育課長 議案第28号について説明をさせていただく。障害児就学支援委員については、平成23年度より2年間の委嘱をしたが、平成25年5月31日で委嘱期間が切れるため今年度改めて17名を委嘱するものである。委嘱については行田市障害児就学委員会条例に基づき、各選出区分より選出し、別紙のとおり、行田市障害児就学支援委員会委員(案)として示させていただいた。委嘱期間は平成25年6月1日から平成27年5月31日までの2年間となる。選出区分と委員の紹介について説明させていただく。まず、行田市医師会から推薦をいただいた医師関係者の2名として委嘱をしていただければと思う。続いて行田市立小・中学校職員という選出区分から校長会より2名、通級指導教室担当者から4名、特別支援教育担当者の代表から1名、養護教諭の代表が1名である。続いて、児童福祉施設関係職員という選出区分から3名である。内訳としては行田市家庭児童相談員より1名、行田市保健センターより推薦をいただいたものが1名、行田市立教育研修センターより1名である。学識経験者の選出区分から県立行田特別支援学校より推薦をいただい</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第29号 行田市学校給食調査研究 委員会委員の委嘱について</p>	<p>た1名、委員会委員として相応しい経験や実績のあるもの、そして元小学校長から1名である。最後に教育行政関係者の選出区分から行田市立教育研修センター所長並びに学校教育課長それぞれ1名、計17名である。今回の委嘱において初めて委員になったものは3名であり、4番の長野中学校の柏瀬校長、9番の太田東小学校の清水教諭、17番の学校教育課長の篠田豊和である。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。 学校教育において障害児特別支援教育というものは教育の根本だと考えている。それがきちんとできないと他の教育もきちんとできないと思う。障害児就学支援について、記載されている委員方には適切な支援を行っていただきたい。先日も新聞に出ていたが、高等学校が増加している傾向がある。ぜひ市内でも多くの児童生徒がいらっしやるのでよろしく願います。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読 学校給食センター所長 議案第29号について説明させていただく。本案は行田市学校給食調査研究委員会委員の任期満了に伴い、新たに委嘱をするものである。当委員会では行田市学校給食に関する事項を調査研究するための組織であり、委員は13名である。2枚目の別紙をご覧ください。なお、別紙については氏名の訂正があったため、差し替えをお願いした。内訳として学校長が2名、小・中学校食育主任が6名、小・中学校PTA代表が4名、教育委員会事務局職員が1名となっている。委員は食材の選定を行う物資選定部会と献立の研究を行う献立研究部会に分かれる。年2回の全体部会の他、それぞれの部会で年5回の会議を行っている。また広報部会では7月と12月にひまわり通信を発行している。任期については平成25年6月1日から平成26年5月31日の1年間である。今回は新任が10名、再任が3名である。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>委員長 何か質問等はあるか。</p> <p>鹿山委員 食物アレルギーのある児童生徒は把握しているのか。</p> <p>学校給食センター所長 把握している。</p> <p>鹿山委員 安心した。</p> <p>町田委員 前年度までは小・中学校給食主任代表が6名、選出区分に表記されていたが、今回は小・中学校食育主任と表記されているが名称が変わったのか。</p> <p>学校給食センター所長 前年度まで給食主任ということで表記させていただいたが、昨今の状況から食育主任が妥当ではないかという話が出ていた。まだはっきりとはしていないが食育を強調する意味で食育主任へ統一を図っていくということから、今回は食育主任と表記させていただいた。</p> <p>委員長 このことについて文部科学省から通知が届いているのか。</p> <p>学校教育課長 通知は届いていないが、他市の教育研究会の今まで給食主任と公務文書に表記されていた部分が食育主任と変更されているものが増えている。県内の会議でも食育主任が集まっていると発言していた。給食に限らず、子どもの食育全体を考えるとということで食育主任という名称へ変更している。今年から教育研究会、主任名、給食主任会を食育主任会とした。</p> <p>委員長 行田市の教育研究会、東部教育事務所の組織や県の組織も食育担当と変更になったということか。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>学校教育課長 そのとおりである。</p> <p>町田委員 学校給食調査研究委員会の設置要綱では給食主任となっているがこちらは変更しないのか。</p> <p>学校給食センター所長 食育主任という方向で要綱の改正を考えている。</p> <p>委員長 給食という言葉は様々な場所で使用されている。学校給食センターも学校食育センターとなるのか。</p> <p>学校教育課長 給食については給食のままなので変更はない。教育の考え方として給食に関しての仕事をするのではなく、食育全体を教育の一環として考える主任であり、その中に給食指導も含まれる。昨年も東小学校で食育の研究発表が行われた。</p> <p>委員長 調査研究委員会の仕事内容をもう一度、委員に説明をお願いする。</p> <p>学校給食センター所長 一つは、食材・物資の選定を行う物資選定部会である。委員は13名だが、前期、後期ということで半々に分かれていただき、前期に物資をお願いした委員については、後期は献立研究部会に回っていただく形をとっている。物資の選定については数社から原則3種類以上の調理したサンプルを取り寄せ、固さや食感等を食べ比べて総合的に判断して選定している。献立研究部会については栄養士が作成した献立の発表に基づき意見をいただき審査する組織である。</p> <p>委員長 学校給食センターの会議室には厨房が設備されている。その厨房を使い、様々な食材を調査研究委員会の前で調理して子ども達へどれを出したら良いか、選定の前に保護者の方々や教員</p>
--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p style="text-align: center;">議案第30号 行田市社会教育委員の委 嘱について</p>	<p>に食べていただくために会議室に厨房を設置した。行田市も以前は自校給食だったが、調査研究委員会の役割としてセンター給食に変更して子ども達から少し離れた部分を補う意味もある。ぜひ市民の方には鹿山委員の意見のとおりアレルギー関係や安全面に注意した献立が選ばれるように調査研究委員会委員の方にお願ひする。</p> <p>鹿山委員</p> <p>物資選定の参考にしていただければと思うが、「摂取総エネルギーの10%を飽和脂肪酸で摂った動物は何一つ学習ができなくなってしまった。」という話をしたが、この話には続きがあり、動物実験によると、飽和脂肪酸の多い食事を続ければ、脳に良い不飽和脂肪酸を摂取しても取り返しがつかないという。これを飽和脂肪酸の「抗学習効果」と呼んでいる。また、別の論文によれば、α-リノレン酸が少なく、リノール酸が多い油を2世代に渡ってラットに与えると、脳内のDHA量が減るに伴って学習能が低下するとのことである。そこで2世代目離乳期よりDHAを投与したところ、脳内DHA量は回復したが、学習能は回復しなかった。しかしこの時、DHA投与と同時にn-6系脂肪酸の量を減らしたところ、学習能も回復したということである。つまり飽和脂肪酸の割合だけでなく、n-3系脂肪酸とn-6系脂肪酸のバランスも大変重要である。油は学力と密接に関係しているため、適切な配慮をお願ひする。</p> <p>委員長</p> <p>何か質問等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>ひとつくり支援課長</p> <p>議案第30号について説明させていただく。本案は行田市社会教育委員15名の内3名の委員について所属している団体の役員改選に伴いそれぞれの団体から新たに後任の委員の推薦があったため、委嘱をしようとするものである。次のページをご覧いただきたい。後任の委員だが、井澤一博氏は行田市教育研究会からの推薦で小学校長会の会長であり、埼玉小学校の校長</p>
--	---	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>である。蓮恵理子氏は行田市 PTA 連合会からの推薦で須加小学校 PTA 副会長である。吉田さゆり氏は行田市子ども会育成連絡協議会からの推薦で当協議会の理事である。なお、任期については前任者の残任期間である。次のページが新任者 3 名を含む行田市社会教育委員 15 名の一覧である。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。 社会教育委員というものは社会教育法というのものがあるように、非常に重い役目や権限がある方々である。学校教育関係も学校教育施設も社会教育のために施設等を開放するということが謳われている。社会教育は非常に大切にされている部門である。スポーツ振興も社会教育に含まれているのか。</p> <p>ひとりづくり支援課長 スポーツ振興も含まれる。</p> <p>委員長 非常に範囲が広い部分であるので、社会教育委員会にはそれぞれの社会教育施設、社会スポーツ施設を利用された方が増加しているということやどのように充実しているかを報告していただいて、意見をいただくということが一つの形になっている。 図書館は社会教育施設に含まれるのか。</p> <p>ひとりづくり支援課長 図書館も社会教育施設に含まれる。</p> <p>委員長 公民館も勿論含まれると思う。</p> <p>ひとりづくり支援課長 そのとおりである。</p> <p>委員長 非常に広い分野から人々が選ばれている。 社会教育委員会の最近の課題等があれば説明していただきたい。</p>
--	--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第31号 行田市文化財保護審議会 委員の委嘱について</p>	<p>ひとつくり支援課長</p> <p>参考として、平成24年度における、社会教育委員の具体的な活動について説明させていただく。計3回の会議を開催し、第1回については平成24年度の社会教育行政施策について各課所館長から説明を行った。第2回については各種事業の中間報告及び今後の予定等について報告し、第3回については平成24年度各種事業の実施状況の報告を行った。各回ともそれぞれ各委員から様々な意見をいただいたところである。</p> <p>委員長</p> <p>桜ヶ丘公民館という新しい公民館が作られたように充実する試みが行われていると思うが、参加者の高齢化が進んでいるということで様々なバリアフリーのような配慮も必要になると思う。耐震関係は着実に進められていると思うが、これからはその様な方面の対策も必要になってくると思う。</p> <p>何か質問等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長</p> <p>議案第31号について説明させていただく。選出団体の役職の異動に伴い、新たに1名の方を委員として前任者の残任期間の間、委嘱するものである。次のページをご覧ください。行田市教育研究会から推薦されていた委員が役職の異動の関係のため、後任者に荒木小学校長の漆原亮氏を委嘱するものである。任期は前任者の残任期間であり平成26年4月30日である。次のページをご覧ください。新任者の漆原亮氏を含めた行田市文化財保護審議会委員の一覧である。</p> <p>委員長</p> <p>何か質問等はあるか。</p> <p>前回、議題に上がった厨子についてもこの審議会にかけられたのか。</p> <p>文化財保護課長</p> <p>そのとおりである。文化財保護審議会は文化財指定に関する</p>
--	---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 会 議 の 進 行 状 況 </p>	<p> 議案第32号 行田市立図書館協議会委員の委嘱について </p>	<p> ものの審議を行うことがメインになっている。審議会が3月に開催されているのだが、そのときに厨子を審議会にて建議するということになり、4月定例会に議案として提出した。 </p> <p> 委員長 それぞれの文化財に詳しい方がこの審議会に所属しているのか。 </p> <p> 文化財保護課長 そのとおりである。委員の説明をさせていただくが、新井孝義氏は市議会から、漆原亮氏は教育研究会からの推薦である。他は学識経験者の方で、劔持和夫氏は埼玉県埋蔵文化財調査事業の方で考古学の専門家である。深沢尚樹氏は天然記念物の専門家である。金子昌司氏は書道家であり、書道関係の文化財の検討をしていただいている。木島隆夫氏は版画家であり、美術関係の文化財の検討をしていただいている。宮本伸子氏と横山晋一氏については建築の専門家である。原口知宣氏については住職であり、仏教関係の文化財の検討をしていただいている。また、指定文化財の所有者である。大友務氏は元埼玉資料館長、元郷土博物館長であり、民俗学の専門家でもある。 </p> <p> 委員長 皆、立派な方々である。 何か質問等はあるか。 </p> <p style="text-align: center;"> 【原案のとおり承認】 </p> <p> 委員長提案、書記次長議案朗読 図書館長 議案第32号について説明させていただく。本案は行田市立図書館協議会委員10名の内1名につき選出委員に変更が生じたため後任者の委嘱を行うものである。2ページ目をご覧ください。選出区分は学校教育関係者である教育研究会からの推薦となっている。鈴木トミ江氏は行田市立太田西小学校の校長である。任期は前任者の残任期間となり、平成25年6月1日から平成26年6月30日である。3ページ目は新任者を含めた行田市立図書館協議会委員10名の名簿である。 </p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第33号 行田市郷土博物館協議会 委員の委嘱について</p>	<p>委員長 何か質問等はあるか。 私も委員の一員なのだが、図書館は一つの町にとって非常に重要な部分を占めていると思う。ブックスタート事業やセカンドブック事業などの新しい試みを行い、子ども達を主体にして読書に親しむような働きかけを行っていただいている。様々な危機の一つとして活字離れがあるのでぜひ書物が読めるようにしていただきたい。極端だが、自分から本を読むようになれば学校の教師はいらなくなると言われる方もいる程に読書は重要である。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>委員長提案、書記次長議案朗読 郷土博物館長 議案第33号について説明させていただく。本案は行田市郷土博物館協議会委員10名の内3名について推薦団体である行田市教育研究会と行田市PTA連合会から退職・異動等のため新たな委員の推薦書が提出されたため委員の委嘱を行うものである。2ページ目をご覧ください。新任委員について説明させていただく。漆原亮氏は学校教育関係者として行田市教育研究会からの推薦であり、現在は荒木小学校の校長である。小野田誠氏は漆原亮氏と同様に学校教育関係者として行田市教育研究会からの推薦であり、現在は桜ヶ丘小学校の校長である。鈴木貴子氏は家庭教育関係者として行田市PTA連合会からの推薦で現在は下忍小学校のPTA会長である。委員の任期については行田市郷土博物館協議会条例第4条により補欠委員の任期は、前任者の残任期間と定められていることから平成25年6月1日から平成26年7月31日までとする。3ページ目は新任者を含めた行田市郷土博物館協議会委員の名簿である。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。 博物館の展示物のリニューアルの進行状況はどうか。</p> <p>郷土博物館長 今年度の予定だが、常設展示室のうち「古代の行田」コーナー</p>
--	---	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>一を来年の1月末から2月にかけて改修を行う予定である。</p> <p>委員長 来年からなのか。</p> <p>郷土博物館長 そのとおりである。</p> <p>委員長 ビデオについてもリニューアルするのか。角を曲がると体育館だったという内容がある。</p> <p>郷土博物館長 ビデオについても、埼玉銀行があるなど、現在と大分違って いるため、改修工事に合わせて新たに製作するものである。</p> <p>委員長 博物館を建てた当初からのものなのか。</p> <p>郷土博物館長 そのとおりである。昭和63年2月が開館なのでその当時の ものである。</p> <p>委員長 それでは約25年前のものになるのか。 のぼうの城の効果や来館者の動向はどうか。</p> <p>郷土博物館長 入館者については映画「のぼうの城」の影響があり、昨年度 は12万220人であり、例年の2倍以上の数値である。今年 もゴールデンウィークが終了したが、約1週間で約1万人の来 場があった。「のぼうの城」の影響は衰えていない。</p> <p>委員長 郷土博物館も頑張っているが、産業文化会館のロビーも宣伝 を頑張っている。産業文化会館はいきいき財団が運営している のか。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>報告事項 いじめそだんホットラインの相談状況について</p>	<p>ひとつくり支援課長 そのとおりである。展示物は映画のプロデューサーの方からいただいたものである。映画の撮影でどのような角度からカメラを設置したらよいか決めるために使用した模型である。</p> <p>委員長 そうなのか。 「のぼうの城」関係でもいらっしゃる方が多くなったので、そういった方々にも満足できるような施設にしていきたい。 市内の電柱にペナントが付いているがかなり痛んできている。どこの管轄になるのか。</p> <p>図書館長 11月2日の映画公開に間に合わないので、市費で作成し、取り付けたものである。野村萬斎氏の顔を使用することが非常に難しく、公開にぎりぎり間に合ったものである。痛んでいるペナントについては、商工観光課へ対応について話をしていく予定である。</p> <p>委員長 非常に効果のあるものだが、行田市は空っ風で有名であるため、ペナントの痛みも激しいだろうと思う。 何か質問等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【原案のとおり承認】</p> <p>教育研修センター副所長 いじめそだんホットラインの相談状況について報告する。 4月定例会で報告した状況から1件増え、電話相談の件数は2件増えた。但し、増えた相談内容の1件については年配の方自身の相談であった。前回の定例会ではホットラインについては長期休業日前に市報ぎょうだに再度掲載していただくと報告させていただいたが、市民の方が市報ぎょうだに目を通されることを踏まえ、相談内容は市内小・中学生を中心にした子ども達に関するものであることを、より理解していただけるように6月号に掲載されることになっている。</p>
--	---------------------------------------	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第26号 平成25年度一般会計教</p>	<p>委員長 様々な想定外の相談もされると思うので、あらかじめどう対応したら良いのか考えなければならないと思う。「担当ではありません。」と返答するのでは可哀想である。何か良い方法を考えていただきたい。いじめ対策については教育委員会の体制を根本から変える要因となる程の問題でもある。ぜひこれからも大切にしていかなければならないと思う。</p> <p>学校教育課長 行田市で今年度からネットパトロールというインターネットやSNSやフェイスブックなどのサイトの中で、他人の中傷等の書き込みが無いか調べる業者へ委託した。その第1回目の報告が提出された。中学校関係のみに限定しているが、学校裏サイトと呼ばれる学校の仲間だけが閲覧できるサイトが13件あった。中身について検索をかけたところ危険性や他人に対する誹謗中傷は1件も含まれていないということで報告があった。2ヵ月に1回以上この様な報告を行うということである。報告があれば定例会で報告をさせていただく。</p> <p>委員長 何か質問等はあるか。 いじめだけではなく体罰や学級崩壊、学力問題など様々な問題も報告していただけるのか。</p> <p>学校教育課長 サイトの中に学校名などの書き込みがあれば報告がある。</p> <p>委員長 手厚く対応できるようにしていただきたい。市長が自らきちんと対応していかなければならないとおっしゃっている。肝に銘じて対応をお願いする。また教育長、部長を始めバックアップをお願いする。</p> <p style="text-align: center;">これより非公開とする。</p> <p>(非公開)</p>
--	-------------------------------	---

議 の 進 行 状 況	育費補正予算について	委員長 事務局、課所館長から報告等はあるか。
	その他報告事項 行田ライオンズクラブ記念石碑寄贈について	文化財保護課長 資料に基づき説明。
	ぎょうだ蔵めぐりスタンプリナーについて	文化財保護課長 資料に基づき説明。
		委員長 以上で本日の定例会を閉会とする。

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

- 1 次回定例会開催予定日 平成25年6月25日(火) 午後2時
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

委員長

委員

委員